

## 小規模な福祉施設と地域のつながり

旭区内には、小規模な障害者地域作業所（以下、作業所）等の施設も多くあります。作業所では、お菓子・手芸品等の自主製品の製作・販売、喫茶の運営等の活動を行っています。

身近な地域にある作業所は、地域住民にとって大切な居場所となっています。坂が多くて、気軽にある集まれる場所がない地域では、作業所の運営する喫茶は、ゆっくりと過ごせて居心地が良いとの声を聴きます。また、自治会町内会によっては、会館を持っていないため、作業所の喫茶スペースを活用して定例会を実施しているところもあります。

旭区内には、地域サロンに作業所が出張喫茶を出店しているところもあります。地域としては、お菓子や飲み物の準備等の負担を軽減することができ、作業所としても地域住民と利用者が顔見知りとなるきっかけになっています。



旭区社会福祉協議会の施設分科会としてネットワークを強化した地域貢献の取組「あさひ支え合いプロジェクト」がいよいよスタートします。

区内の社会福祉施設が中心となり、行政、病院や民間企業等様々な機関と連携し地域で誰もが安心して暮らせるようこの支え合いプロジェクトが発揮出来る事を期待しております。マスコットキャラクター「地域貢犬・サンサン」と共に地域共生社会の実現に向けてサンサンと輝く「旭区」を目指します。



施設分科会 西山宏二郎分科会長  
社会福祉法人 藤嶺会 理事長  
特別養護老人ホーム 弥生苑 施設長

サンサンと輝く太陽に寄り添う雲のようにモコモコとした毛並みの犬。右耳には旭区の花「朝顔」をつけています。



あさひ支え合いプロジェクトのマスコットキャラクター  
ちいき こうけん  
**地域貢犬 サンサン**です！

## 旭区社会福祉協議会の会員を募集しています！

旭区社会福祉協議会(略して“区社協”)は「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなでつくりだす」ことを目的に、社会福祉法に位置づけられた公共性・公益性の高い民間団体です。区社協は、福祉活動に携わるさまざまな団体・機関、自治会町内会や民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会等の会員により、組織されています。区社協会員になると、分野を超えたつながりをつくることができます。また、区社協から寄付や助成金の情報をはじめ様々な情報を受け取ることもできます。ぜひ区社協の会員となって、地域福祉の推進に一緒に取り組みませんか？



社会福祉法人 横浜市旭区社会福祉協議会 横浜市旭区鶴ヶ峰 1-6-35  
TEL 045-392-1123 FAX 045-392-0222  
Mail ● asahi-ks@ceres.ocn.ne.jp  
HP ● <https://www.palletasahi.jp/> X ● <https://x.com/asasha1123>



旭区内の社会福祉施設での  
地域貢献活動をご紹介します

# あさひ支え合いプロジェクト



SDGs の推進

地域ニーズの  
解決

旭北むつみ会と特別養護老人ホーム  
グリーンライフのみなさん

福祉施設と  
地域の連携による  
まちづくり



**あさひ** 支え合い  
プロジェクト

地域貢献活動を進めています

## あさひ支え合いプロジェクトって？

あさひ支え合いプロジェクトは、旭区社会福祉協議会の会員である78施設による「施設分科会」での意見交換からスタートしました。福祉施設として、「地域のためにできることはないか」と継続して地域貢献の取組について検討を行っています。地域住民だけでなく、支援機関、福祉施設等、多様な主体の連携により「地域で安心して自分らしく暮らせるまち」を目指して、取組を進めています。これは、SDGsの目標とも通ずるものがあります。本プロジェクトでは、各施設の強みを活かしてできることに取り組み、地域貢献を果たしていくことを目指しています。

# あさひ支え合いプロジェクト

## 旭区で広がる支え合いのある地域づくり



### 福祉施設が行う 地域貢献の メニュー例



- 施設スペースの提供
- 施設の車両を活用した外出支援
- 専門知識を持った  
人材の派遣協力
- 地域の清掃や子どもの  
登下校見守り
- 施設設備・備品の提供・貸出  
\* トイレの貸出や休憩スペースの提供等  
も地域貢献活動の一つです。

### 地域のイベントへの参加

地域で行われている夏祭りに、保育園として毎年出店しています。地域の一員として、夏祭りを一緒に盛り上げるとともに、地域の方々との交流を深め、子どもたちや保護者にも地域のつながりを感じてもらいたいという思いがきっかけです。お祭り以外の地域のイベントにも積極的に参加しており、地域とのつながりが強くなっています。

お祭りには園の子どもたちも参加し、盆踊りを踊ってお祭りを盛り上げています。

また、子どもたちが地域の方と交流する機会にもなっています。

協力施設 上の原保育園



#### 施設から

お祭り等のイベントをきっかけに地域の方とのつながりができ、お散歩のときなどに声をかけてもらえるようになり嬉しくなりました。子どもたちと地域の方が顔見知りになるきっかけになっており、地域の方にもいつも子どもたちを見守っていただいています。



#### 地域の方から

地域の中で子どもが少なくなってきたため、お祭りやイベントの時に保育園の子どもたちが参加してくれるととても盛り上がり嬉しくなりました。他のイベントにも関わるなど地域にたくさん貢献していただき感謝しています。

### 施設が力を合わせて地域を盛り上げる

地域ケアプラザと周辺の9施設が連携し、健康測定や健康体操などの体験イベント『ひかりが丘健康応援フェスタ』を開催しました。以前は福祉フェスタとして有志の方が中心に運営する地域行事でしたが、コロナ禍とスタッフの高齢化が重なり、しばらく休止が続いていました。しかし令和5年度からは、地域のつながりを取り戻すために、福祉施設が協力し合って新たな形でスタートしています。



#### 協力施設

介護老人福祉施設ヴィラ桜ヶ丘  
介護老人福祉施設ヴィラ横浜  
特別養護老人ホームサンライズヒル横浜  
特別養護老人ホーム椿寿  
介護老人保健施設ケアホーム横浜  
白根学園しらねの里・げんき  
生活介護事業所 偕恵シグナル  
生活介護事業所 辻のあかり  
地域作業所 カブカブ  
横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ



#### ケアプラザから

周辺施設の方に力をお借りすることで、地域連携の可能性が広がりました。これからも施設と地域がお互いに協力し合えるネットワークを築いていきたいです。



#### 連携施設から

地域の方に直接お声かけをして、施設の行事をアピールするなど、活動の周知ができました。共同作業を行うことが、施設間での顔の見える関係づくりにつながります。



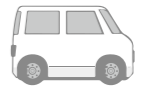
#### 地域の方から

地域の施設の楽しい雰囲気が伝わりました。地域の担い手が減る中で、形を変えても行事が続いて良かったです。もっと多くの人に知ってもらえるよう、周知に協力します。

### こんな取組も 行われています

- 福祉施設の職員が地域住民向けの認知症カフェや高齢者サロンを実施しています。
- 小中学校の福祉学習で障害理解や高齢者理解に関する講師を務めています。また、ジュニアボランティアの福祉体験や保育体験等の受入を行っています。

### 施設車両を活用した移動支援



地域で行われている昼食会やサロン活動等には、会場まで歩いて出向くことが困難になる参加者がいます。地域の会議でその課題を知ったグリーンライフでは、それらの方々が続いて参加できるよう、施設の車両を活用した送迎活動を実施しています。これまではバスを乗り継いで参加していた参加者も、安心して気軽に参加できるようになりました。



#### 施設から

地域のためにできることはないか考えていたときに、会議内で移動に困難を抱える方がいると聞き、地区社協や地域ケアプラザの皆さんと相談して、送迎を実施することになりました。



#### 地域の方から

長く中途障害者支援の活動をしてきましたが、利用者の高齢化に伴い、自力で会場まで来ることが難しくなってきた方が増えてきました。送迎があることで、体力が低下しても顔見知りのメンバーが集まれることに感謝しています。

#### 協力施設

特別養護老人ホームグリーンライフ



### 多世代交流・居場所づくり

川井地区にある高齢者福祉施設が連携して、多世代交流の場づくりを目的に、年に数回、地域食堂を開催しています。施設から集まった職員が企画から当日運営までを担います。当日は、たくさんの地域の方が参加され、おいしい食事と参加者同志や施設職員との交流を楽しめました。



#### 施設から

地域貢献活動に取り組みたいけれど、何に取り組んだらよいか迷いがある中で、「まずはやってみよう」と地域食堂の開催に取り組んでいます。

複数施設の連携による取組であるため、各施設の負担が少なく、また取組を通じてできたつながりは、災害時にも生きてくると感じています。



#### ケアプラザから

施設職員の皆さんの協力で地域の子どものから高齢者まで、多世代住民の皆さんがおいしく食事をし、楽しく過ごせる交流の場ができ、感謝しています。川井地区には施設が多くあり、地域食堂が施設を身近に感じる機会にもなっています。